



# 清水小だより

令和8年4月6日

八王子市立清水小学校

校長 岡田 信一郎

No. 1 4月号

学校だよりはホームページにも掲載しています。

八王子市立清水小学校 検索

## 「自他共の可能性を信じ、一人一人の個性が輝く学校」をめざして

校長 岡田 信一郎

校庭の花々が咲き誇り、春の息吹を感じる季節となりました。新たに59名の1年生を迎え、令和8年度がスタート。子どもたちは、新しい学年・新しい仲間との出会いに期待をふくらませながら、元気に一步を踏み出しました。前任の荒井雄一校長に代わり、4月1日より着任しました岡田信一郎と申します。25年間の教員・副校長経験を経て、念願だった八王子市の小学校に校長として着任することができました。今、私の心には希望と決意が満ち溢れています。保護者・地域の皆様と共に、清水小学校の子どもたちの成長と幸福のために力を尽くしてまいる所存です。どうかよろしく申し上げます。

さて、私は教員生活のスタートにあたり、学級だより「さくら」(2001/4/9付)にこう綴りました。「春になると、空も地面も、光が一段と明るくなります。桜の花とともに希望に満ちた子どもたちの笑顔が明るく輝きます。しかし、美しく咲いた花を見る人も、その根っこは見ません。人生にとって、根っことは、小学生時代ではないでしょうか。(中略)その木の性格や癖をよく知って、それにこちらが合わせて、温かく見守るしかありません。子どもみんな違います。それぞれに、その子だけの、その子らしい花があります。今、どんなに成績が悪くても、どんなに手に負えない規格外れの子でも、将来、どんな素晴らしい人間になるかわかりません。そう信じる愛情の深さの分だけ、子どもたちは伸び伸びと、生き抜く力という根っこを張り広げていけるのではないのでしょうか。」と。あれから25年が経った今も、この時の思いは変わりません。

学校は、子どもたち一人一人が自分自身の無限の可能性を開き、生涯にわたって自分らしく生きていく土台を築く場です。私は校長として、その実現のために、すべての児童が、自分と仲間の可能性を信じ、互いを認め合いながら学び合う「自他共の可能性を信じ、一人一人の個性が輝く学校」をつくっていきたくと決意しています。そして、前任の荒井校長の思いも継承し、子どもをど真ん中にして、教職員・保護者・地域が一体となって、子どもたちの“輝き”を支える学校をめざしていきます。そのための具体的な方策については、「地域学習の充実」や「基礎学力の向上」を主軸にした学力向上、「あいさつの励行」に重点を置いた人間力の育成等の柱を掲げていますが、詳しくは4月の保護者会等で御説明させていただきます。本年度も本校の教育活動への御理解と御協力を、心よりお願い申し上げます。

### ホームページ等への子どもたちの写真掲載

本校では教育活動の写真をホームページや学校だより等、各種文書に掲載し、保護者や地域の皆様に、より分かりやすく、親しみやすい情報発信を行っていきます。

個人の肖像権等の事情により写真の掲載を許可されない方は、**4月13日(月)までに連絡帳・お電話・Home&School等で担任へお知らせください。**